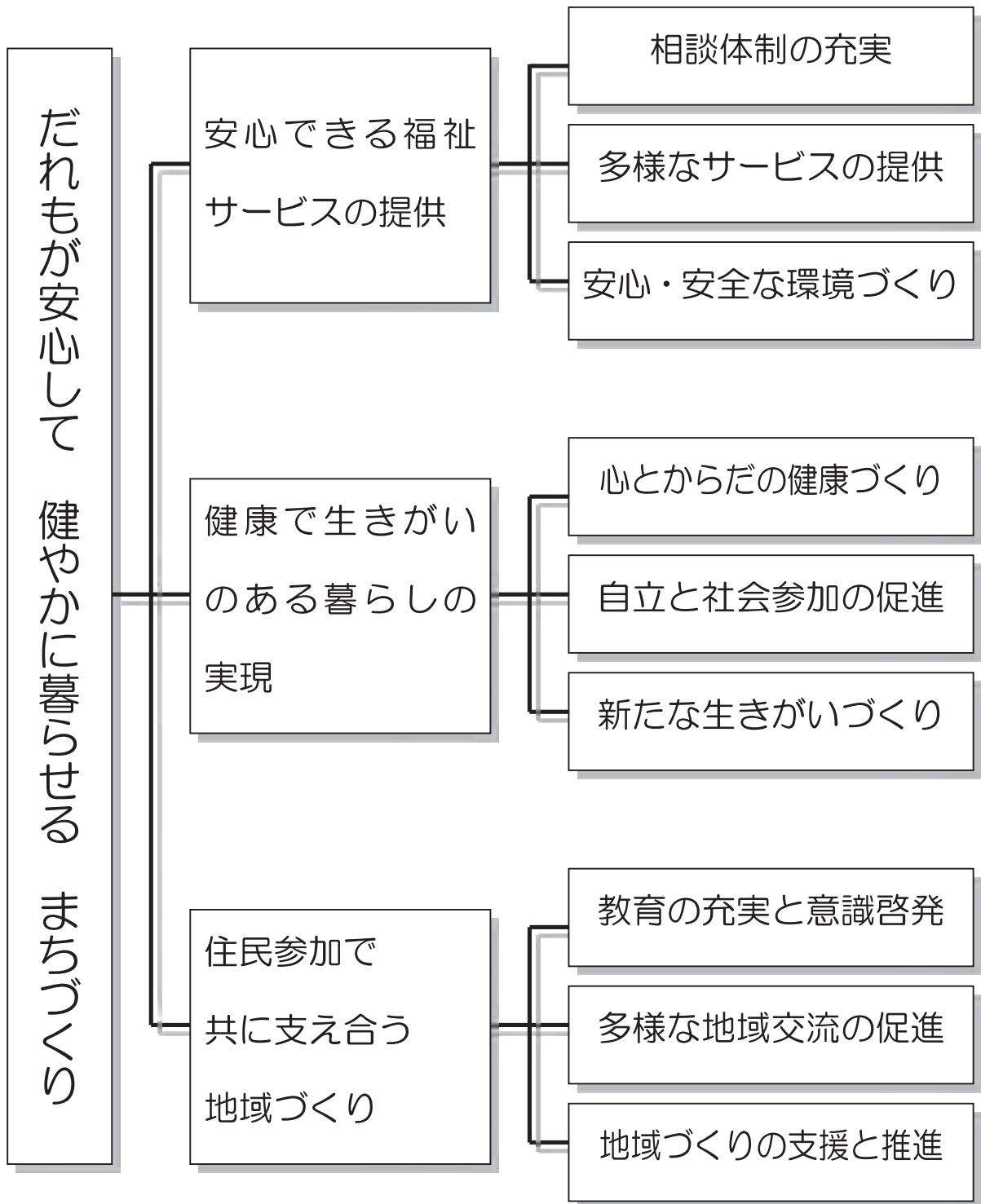


2 計画の体系

本計画の基本理念、3つの基本目標を実現するため、具体的な取り組みを示して地域福祉の推進に取り組んでいきます。



第4章 活動計画

地域福祉は、「地域住民」「民間団体・事業者」「行政」が相互に協力し推進されるものです。特に、「地域住民」は地域福祉の担い手としての積極的な参画が期待されています。

この章は、行政計画である『地域福祉計画』の施策の方向性で示されたそれぞれの役割を踏まえ、本計画における「住民」「民間団体・事業者」がそれぞれの役割を理解し、協働して地域福祉の推進を図るための具体的な取り組みと、行政に期待することとして、住民の声を掲載しながら提示します。

住民、民間団体・事業者の基本的な役割

「三条市地域福祉計画」より抜粋

住民の役割（自助）

地域住民一人ひとりが、地域福祉に対しての理解を深め、積極的かつ主体的に活動していくことが求められます。

民間団体・事業者の役割（共助）

地域住民の多様なニーズに対して、民間の専門性や柔軟性を活かした適切なサービスの提供が求められます。

とりわけ、社会福祉協議会には、地域福祉を推進する中核的な役割とともに、地域住民と行政を結ぶ橋渡し役を担うことが求められます。

- ・ 民間団体…自治会、民生委員児童委員協議会、地域コミュニティ、PTA、ボランティア団体、市民活動団体（NPO）、老人クラブ、社会福祉協議会などをいいます。
- ・ 事業者…福祉サービス事業者、その他事業者（企業）などをいいます。

1 安心できる福祉サービスの提供

<課題>

地域において様々な生活課題や福祉ニーズを抱えている方に、必要な時に必要なサービスが提供されることが重要ですが、「実際にどこに相談に行けばいいのかわからない」「手続きの仕方が分かりづらい」といった声が聞かれます。

また、「ちょっとしたこと」の手伝いなど公的サービスでは拾えないニーズや、「制度の谷間」にいる方への対応などを、どうキャッチしていくか、その情報をどうつなげていくかも課題です。

さらに、災害等もしもの時における迅速な支援のあり方など、地域における安心・安全の確立が、地域での暮らしの大前提であり重要な課題です。

<住民懇談会での意見>

- ・ 高齢者や障がい者への支援方法が分からない。
- ・ 高齢者問題で相談に行っても窓口で帰された。
- ・ 子育て支援の考えが遅れている。子育てに不安のないまちであつたらいいな。
- ・ 文書が分かりにくくて理解できない。
- ・ 情報が得られない。情報不足。
- ・ 個人情報保護法に過剰反応し過ぎてはいないか。(地域の情報が得られない)
- ・ 病院が少ない、遠い。
- ・ 防災意識を高めてほしい。水害に強いまち、犯罪のないまちであつたらいいな。
- ・ 不審者が出没して不安だ。(防犯パトロールを強化してほしい)
- ・ 子どもが安心して遊べる公園がない。

